

アグリセミナー開催 ～先輩から後輩へ、“働くこと”を学ぶ～

生物資源系列の2年生25人は7月8日に、県山本地域振興局が主導する事業の一環として、スプラウト（発芽野菜）商品を生産する株式会社ミツ農研（八峰町）と、能代市内で肉用牛を取り扱う朝場畜産、園芸メガ団地で「白神ねぎ」を栽培する（農）轟ネオファームの施設見学を行い、それぞれの地域に根ざした業務内容や雇用状況等について学びました。

このうち、（農）轟ネオファームと朝場畜産には能代西高OB、OGが就業しており、その先輩から現在の業務内容など貴重な経験談を聞くことが出来、生徒らはメモを取るなど熱心に聴講していました。

朝場畜産では牛舎の中を見学させてもらい、たくさんの牛たちの中に平成30年11月16日に能代西高の畜舎で誕生し、来年の統合に伴い朝場畜産に引き取ってもらった「もみじ」と再会。

「もみじ」も久々の西高生との再会に嬉しそうにしていました。



先輩から貴重な経験談を聞くことができました。



代表に熱心に質問する生徒ら



1頭1頭の健康状態を見逃さないことがポイント



「もみじ」と久々の再開
大きくなっていました。



生まれたばかりの「もみじ」



牛舎内を見学させてもらいました。

介護職員初任者研修試験合格を目指して

生活福祉系列の3年生11人は、1月に行われる介護職員初任者研修試験の合格を目指し、介護の基本やコミュニケーション技術など日々学んでいます。

7月29、30日には講師に小林ユリ子看護師を招き、食事介助や排泄介助の基本を学びました。

加藤響希さんは「介護職に就く親の姿をみて、介護の現場に魅力を持った。卒業後、介護現場で即戦力となるよう基礎技術をしっかり身につけたい。」と教えてくれました。

しっかりとした基礎を身につけたより良き介護者を目指した、生活福祉系列3年生が学ぶ教室内は、将来の理想像を追い求める生徒たちの希望と熱気に溢れていました。



小林講師から排泄介助の基本を学びました。



ベットメイキングはマスターしました！



排泄用具の構造を確認



肘を支点に臀部を持ち上げます。